

12月9日(水曜日)「与えられるほうが幸い」

【新改訳 2017】

使徒 20・33-35

「このように苦勞して弱い者を助けなければならないこと、また、主イエスご自身が、『受けるよりも与えるほうが幸いである』と言われたみことばを思い出すべきことを、私は、万事につけ、あなたがたに示して来たのです。」(35節)

私たちは、生来、与えるより受けることや集めることを欲する傾向があります。「ご利益」の考え方もその現れでしょう。しかし、受ける欲には、真の幸いがありません。主も、「受けるよりは、与えるほうが幸いです」と言われました。

この靈的な意味を知っている兄弟たちに、筆者自身もどれほど教えられたかしれません。

三十数年前、学びながら、開拓伝道らしきことを始めていました。そこに、M 夫妻が加えられました。ご自分たちも決して余裕があったわけではないのに、よく、他の人に「与える」ことで喜んでおられたのを忘れることができません。

それは、その教会の形成に大きな祝福となりました。

～祈り～

主よ。私たちは、与えるより受けるほうを望みがちです。どうか、あなたのおことばのように、受けるより与えるほうを喜ぶ者となれるようにしてください。

【学びのために】

箴言 11・24、25 参照